

4. 記録の記入方

- A: 大会名
- B: 場所（市町村名）
- C: 体育館名
- D: 日付→西暦（20XX）で記入。
- E: 男女チェック欄（×で記入）
- F: 対戦チーム名
- G: 試合番号
- H: 提出されたエントリー票の内容を記入。
- I: 審判員氏名を記入。
全国、北信越大会時のみ審判員所属の都道府県名を記入。
- 以上県大会ではここまで記入された記録用紙が渡されます。（会場当番の保護者が記入）
- J: ラインジャッジ氏名を記入。ライン担当は別紙の審判団の位置を参照。
（線審欄は記録員が記入する。）
- K: 監督と主将に記録用紙に記入されたチーム名・プレーヤー名と背番号を確認してもらい、サインをもらう。
- ここまでをプロトコル前までに記入をして完了させておく事。
- L: 両チームキャプテンによるトス後、A・Bチームの割り当て。記録席から見て左側がA、右側がBになります。
チーム名を記入しサーブ側はSに×、レシーブ側はRに×をする。
- M: セット毎に提出されたオーダー票（ラインアップシート）のサインを確認してからサービス順を記入。コート上の競技者番号とエントリー票の背番号を必ず確認する事。（両チームの公式練習終了時まで受け
- 公式練習中はエントリー票に記載された選手がいるかどうか副審と別に確認する。
スターティングメンバーも副審と記録は別々に確認
- N: 主審のサービス許可の吹笛のあった時点の時間を記入する。
- O: サービス順1のプレーヤーがサービスをしたらチェックを入れる。またそのチームがサービス権を失った時にその時点での得点を下に記入する。
- P: 点を取った時点で得点を斜線（/）で消していく。（斜線で消されなかった数字はセット終了後に定規等を使用して消す）
- Q: そのセットの最終得点は○で囲む。
サーブミスで終わった場合は「レ」を記入せず、次のサーバーの所に点数を記入して○をする。
- R: タイムアウトを取った時にその得点を記入する。（取った方が左側に書く）
- S: 警告・反則・退場・失格の欄に罰則を受けた選手の背番号・チーム役員の場合はそれぞれ略語を記入する。チームへの遅延の罰則については、Dの文字を記入する。反則で得た得点は「/」スラッシュで書かず○
- T: メンバーチェンジする時は、コートを出る選手の背番号の下に、交代する選手の背番号を記入する。またその下に交代時の得点も記入する。交代した選手が再びコートに戻る時はその時点での得点を得点欄の下段に記入し、コートを出る選手の背番号を○で囲む。二連の動作…副審がメンバーチェンジのシグナル→交代する双方の選手を確認→副審が記録員を見たら片手をあげる→手を下げ、交代を記入→両手を上げ完了した事を副審に知らせる。
- U: 最終セットはチェンジコートした時点でそれまで1番左側に記入していたチームのサービス順や得点の記録をこの部分で続ける。
- V: 試合終了後、タイムアウトの回数・競技者交代数・得点などを記入する。
- W: それぞれのセットの勝者に1の数字を記入する。
- X: 上記の合計を記入する。
空欄は全て埋める事。
※2セットで終了したら3セット目は空欄のままにしておく。
- 補足説明
- 1、得点は都度確認する。違っていた場合はゲームの進行を止めないで訂正させる。
 - 2、タイムアウトと競技者交代のコントロール各チームの2回目のタイムアウトと11回目と12回目の競技者交代を副審に知らせる。
 - 3、セット終了時、ゲーム終了する得点を記録後直ちに終了の合図を副審（主審）へ送る。
 - 4、試合終了後すぐに勝利チーム名を記入し、まず両チームの主将のサインをもらう。その後、集計をし、記録用紙全体に記入漏れや間違いがないか確認して自分のサインをした後で副審、最後に主審が最終チェックしてサインする。